

【審議会でのご意見一覧】

●...対応済

項目	ご意見内容	対応
計画体系全般	<p>・どうい課題があるからこういう施策が出てきているというのが見えにくい。課題の洗い出し自体ができていないのか、その課題を解決するための施策が的を得ているのかを改めて議論したい。</p> <p>・課題の認識と、それを踏まえてこういう施策がよいと思うという案として出してもらえると議論しやすいのではないかと。</p> <p>男女共同参画に関係あるからとさほど重点ではないものまで無理やり載せるのではなく、今、重点的に取り組むものがないのであれば無理して載せないという形で外して整理してスリムにしてもいいのではないかと。</p>	<p>● ご意見を踏まえて、課題・方向性を踏まえた計画体系となっているか資料を作成し直しました。</p>
重点事項	<p>作成する計画は重点的なものを載せるべきではないかと。</p>	<p>● ご指摘の通り、計画とは、「課題等を踏まえ、その解決に向けて必要な項目立てがされるもの」であることから、次期プランに掲載する目標は全て重点的に取り組むべきものと考え、「重点事項」の設定はしないこととします。</p>
基本目標	<p>・次期プラン案の基本目標「あらゆる分野で男女共同参画の視点を反映させるための環境づくり」と「男女共同参画社会の実現に向けた基盤整備」という表現について、どう違うのかわかりづらい。</p> <p>・なぜ取り組んでいくのかが分からないとやりようもなく、行動のインセンティブにならないため、意識改革が立ち行かないと先が続かないのではないかと。</p> <p>基本目標「男女共同参画社会の実現に向けた基盤整備」が意識改革や人権教育ということであれば、「あらゆる分野で男女共同参画の視点を反映させるための環境づくり」と明確に区別化した方がよいのではないかと。</p> <p>北海道の計画の意識変革が大事というところは、目標として大変見やすい。若い頃の教育は大事になってくるのではないかと。</p>	<p>● まずは男女共同参画社会の実現という題目があり、そのために男女共同参画の必要性を含めた教育・意識改革が第一歩となり、そこから具体的な環境整備が進められていく必要があることから、目標Ⅰ「男女共同参画の実現や多様性を尊重する意識の醸成」、目標Ⅱ「あらゆる分野で男女共同参画の視点を反映させるための環境づくり」、目標Ⅲ「女性が尊厳と誇りをもって安心して生きられる社会の実現」という順番に変更いたしました。</p>

【審議会でのご意見一覧】

●...対応済

項目	ご意見内容	対応
基本的方向	DV被害者の支援は大切で緊急性もあるが、被害者を救済しても同じ加害者が多くの被害者を生むということもあるため、加害者更生プログラムについて、札幌市においても実施している団体へのヒアリングなどもぜひ入れてほしい。	△ DVの対策では、まず被害者の安全安心の確保が最優先であり、加害者プログラムについては国において現在手法等の検討を行い、基本的ガイドライン作成にを行っている段階です。札幌市としては、国の動向を見ながら、検討を進めていきたいと考えています。次期プラン策定後にガイドラインが完成する見通しのため、策定予定のガイドラインとの齟齬が生じないように基本的方向ではなく、施策または具体的取組の部分において触れていけるよう考えております。
	・男性にも大きな課題があるし、女性は女性でまた違った大きな課題がある場合は、男女の扱いで載っていいと思う。「男女」とか「誰もが」というように無理やりくらないほうがいいのではないか。 ・解消しなければいけない課題と、平等になるようにしなければいけないという課題があるものを区別して考えなければいけないのではないか。	● 「生涯を通じた男女の健康支援」について、男性を含めた市民全体の健康については、「札幌市健康づくり基本計画」の中で進めていくこととし、次期プランとしては、「女性」に特化する記載といたしました。
	生涯を通じた男女の健康保持・増進というのは、高齢者施策のほうに回してもいいのではないか。重点ではないのではないか。	● 次期プラン案について改めて、男女一方において解消しなければならない事項なのか、バランスがとれるようにすべき事項なのかを整理のうえ、基本目標・基本的方向を作成いたしました。
	立ち位置で差がある部分について、介護や子育てを男女でというのは必要だと思うが、やはり、経済的な自立だったり、いろいろなことで女性が困難を抱えている場合がまだまだ多い。 「誰もが」というところは、ぼかさないほうがいい。	
具体の施策	DV加害者への更生プログラムについて、どういふプログラムが行われているのか、海外の実態など、せめて実態調査を札幌市として積極的にやってもらえたら、被害者を増やさないことにもなるし、被害者を支援することになるのではないか。	△ 加害者プログラムやその実施団体、他政令市の状況等については情報収集を行っているところです。 次期プランへの掲載とは別に、その導入についてはガイドラインを踏まえ、札幌市として慎重に検討していきたいと考えております。
	被害者側から、前のパートナーに対してもDVがあったという話を聞く機会が多いので、今後、札幌市でDV加害者への更生プログラムについて対応していただきたい。	△ DVは誰もが被害者・加害者になる可能性があるものと考えております。このため、社会全体に向けたメッセージとして、集中啓発期間に広報誌等での啓発や、若者向けに通年でデートDV防止講座を実施し、DVに対する正しい知識の周知啓発を行っているところです。いただいたご意見も参考にしながら、より効果的な広報について検討していきたいと考えております。
	DV加害者への更生プログラムについて、札幌市の政策として取り組む準備は必要である。啓発の仕方として、被害者への相談支援もあるという中に含めて、加害者側に対するメッセージのような、そういう言葉遣いを周囲は暴力だと見ているよという啓発の仕方ができると加害者抑制のような効果もあるのではないか。	